

厚生労働省科学研究費補助金

「難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）：重症多形滲出性紅斑に関する調査研究（H29－難治等（難）－一般－028）」

平成 29 年度 第 2 回班会議議事録

日時：2018 年 1 月 13 日（土曜日）9：30～16：00（予定）

場所：朝日生命大手町ビル フクラシア東京ステーション会議室 6 階

住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 5F/6F

- 1 森田研究代表者より、厚生労働省難病代表者会議（平成 29 年 7 月 9 日実施）の要点が説明され、本研究班の 2017 年の研究計画が確認された。平成 30 年から各都道府県に難病診療拠点病院および分野別難病診療拠点病院が制定されている予定。本研究班では、SJS/TEN の診療拠点病院を独自に認定し、診療レベルの向上を図る。
- 2 厚生労働省難病対策課高倉様から挨拶と研究班の事業への指示を頂いた。
- 3 新原先生から診療拠点病院対象の講習会に 47 大学を招待し、38 大学の皮膚科担当者の出席があり、そのうち 25 大学から連携確認表の提出があった旨報告された。提出のなかった 9 大学には提出を依頼し、2018 年 4 月 1 日の日付で認定施設に認定することが合意された。第 2 回の講習会は 2018 年 11 月 10 日、松江市で開催される第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会の期間中に行い、昭和大学、杏林大学、京都府立大学、島根大学にて講師を担当することとした。
- 4 森田から SJS/TEN のステロイドパルス療法の臨床研究の登録基準と除外基準が説明され、各施設での倫理委員会での承認状況が確認された。共同研究施設 11 大学中、9 施設は倫理委員会に申請し、承認された。新原先生から島根大学にて登録された TEN 2 例の経過が報告された。
- 5 重症薬疹関連遺伝子解析の臨床研究における調査票の運用の様式が、杏林大学倫理委員会で承認されたため、各施設で変更の申請をするよう森田から要請された。
- 6 新原先生から薬剤性過敏症症候群の重症度分類作成のための症例集積研究の研究計画書が島根大学倫理委員会で承認されたため、各施設の倫理委員会で承認を得るよう要請された。研究計画書に一部不備があり、主研究施設の島根大学で訂正したものを再度班員にお送りすることとなった。アロプリノールの研究は現在島根大学倫理委員会提出準備中である。
- 7 末木先生から、第 2 回 SJS/TEN 全国疫学調査（2016 年～2018 年）の研究計画概

要が説明され、議論された。黒澤先生から、対象施設を難病疫学班の調査手順に従って選定し、1次調査、2次調査として実施することが提案され、合意された。2018年から調査を開始する。今回は他科との連携なども調査項目に入れることとする。

- 8 橋爪先生から、DIHS を対象としたシクロスポリン療法の研究計画が説明され、議論の結果、20例を対象としたオープン試験として実施することが合意された。倫理委員会の審査は特別倫理委員会での対象となる。
- 9 浅田先生から、DIHS/DRESS のバイオマーカーとしての血清 TARC 値の高度先進医療がほぼ承認の見込みとなったことが報告された。平成 30 年 4 月から各施設で先進医療を申請し、保健適用に向けて臨床研究を開始することが合意された。

10 Information from Taiwan SCAR

- (1) 再発性 HSV 起因性多型紅斑に対して levamisole が有効である旨報告があった。
 - (2) multikinase inhibitors による手足症候群の検討が報告された。
 - (3) 近年使用されつつある免疫チェックポイント阻害剤の皮膚障害について報告があった。
- 11 上田先生から、感冒薬関連 SJS/TEN 発症関連遺伝子 IKZF1 による皮膚粘膜炎症制御の機構に関する研究成果が報告された。HLA-A0204 に加えて、IKZF1 遺伝子変異を検出することで、感冒薬関連 SJS/TEN 患者をより感度高く検出できる可能性が報告された。
 - 12 藤山先生から、DIHS に続発したニューモシチス肺炎の 3 例が報告された。治療における β -D-glucan の頻回の測定が必要であることが合意された。予防薬の投与については、賛否両論があり、合意には至らなかった。
 - 13 加藤先生から、偽膜形成の眼症状からスティーヴンス・ジョンソン症候群と鑑別を要した接触皮膚炎の一例が報告された。
 - 14 栗原先生から、DIHS 後に生じたリンパ増殖性疾患の報告があり、台湾含めた他施設からも同様な報告があった。DIHS-associated autoimmune dermatosis の概念が提唱され、今後症例集積して検討していくこととなった。

事務局から、次回の班会議(Next Asian-SCAR meeting)は 2018 年 7 月 28 日の予定であること、2018 年 11 月 10 日、松江市にて西部支部総会のプログラムとして I-SCAR を開催予定であることが報告された。